

## 近現代史(39)「ロシア革命」

○今回のポイント

<ロシア革命>

【1】 [1. \_\_\_\_\_] (露暦二月革命)

- 1914 三国協商側で参戦するが、[2. \_\_\_\_\_] でヒンデンブルクに大敗。  
↓  
※都市への燃料・食料の供給が低下
- 皇帝・政府は対策を十分にとらず → 戦争継続に反対する声が民衆に広がる。  
↓  
・ 1916年夏 動員に抗議する[3. \_\_\_\_\_] の抗議
- ↓  
・ 1917年3月 首都[4. \_\_\_\_\_] でパンと平和を求める
- 労働者・兵士は[5. \_\_\_\_\_] (評議会)を組織し革命を推進、[6. \_\_\_\_\_] を退位させロマノフ朝を倒す。

【2】 [7. \_\_\_\_\_] (露暦十月革命)

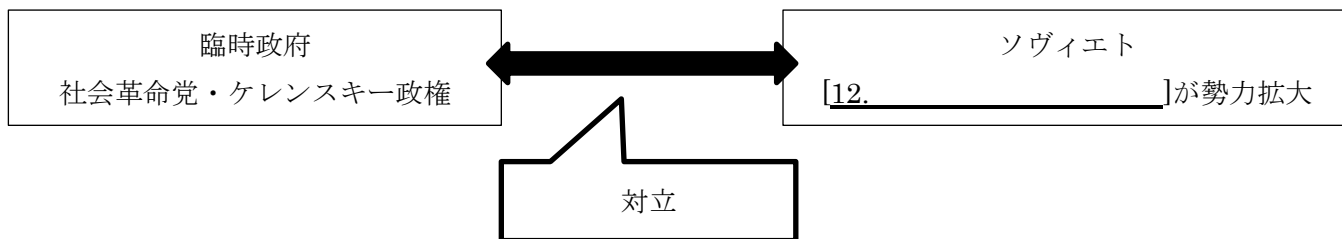
① [8. \_\_\_\_\_] …臨時政府とソヴィエトが並立し、国内に二つの権力が現れる。



※この間に、**農民革命**(農村において土地を求める)・**民族革命**(ウクライナ・フィンランド)が進行。

② 1917年4月 スイスからレーニン帰国「[10. \_\_\_\_\_]」(すべての権力をソヴィエトへ)

③ 臨時政府、社会革命党[11. \_\_\_\_\_]を首班として勢力を立て直そうとし、ソヴィエトと対立。



④ 1917年9月 [13. \_\_\_\_\_] 将軍の反政府反乱の鎮圧にボリシェヴィキが協力、勢力が全国に拡大。

⑤ 1917年11月7日、レーニンと[14. \_\_\_\_\_] が武装蜂起して、政府を打倒。

- ・ 「[15. \_\_\_\_\_]」: 全交戦国に無併合・無償金・民族自決の原則による講和を呼びかける。
- ・ 「[16. \_\_\_\_\_]」: 農民革命を認め土地の私有権を廃止する布告。生産手段を公有化し社会主義政策の第一歩を踏み出した。

<ソヴィエト政権と戦時共産主義>

【1】共産党の成立

■外交

①1918年3月 [17. \_\_\_\_\_]でドイツと単独講和

■内政

①1918年1月 「18. \_\_\_\_\_」宣言

②[19. \_\_\_\_\_]

- ・1917年の憲法制定議会の選挙で[20. \_\_\_\_\_]が第1党。レーニンは衝撃を受ける。
- ・1918年1月18日、憲法制定議会開会。ソヴィエト提出の議題は否決される。
- ・1918年1月19日、レーニンは武力で議会を閉鎖・解散させる。
- ・ボリシェヴィキ独裁へ：ボリシェヴィキ、[21. \_\_\_\_\_]と改称。

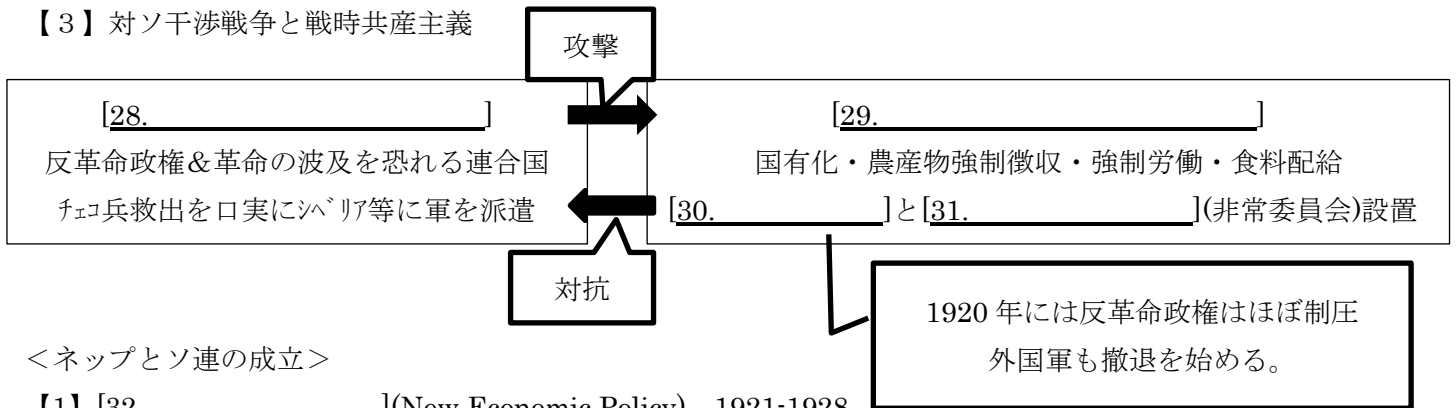
③1918年後半～

- ・地主からの土地の無償没収と農民への分配
- ・工業、銀行、貿易の国営化や国家管理

【2】世界革命論

- ・[22. \_\_\_\_\_]…ソヴィエト政権が永続し共産主義革命が成功するためには、世界各地で革命が起こされ、いくつもの社会主義政権が成立・並存することが必要だという理論。
- ・[23. \_\_\_\_\_]…1919年、世界の共産党などの左翼勢力が。ソ連共産党の指導を受けてモスクワで結成した組織。世界に共産主義革命を波及させる目的で設立したが、ハンガリー、ドイツなど敗戦国での革命は長続きせず、世界革命の期待は破れた。
- ・ドイツ：[24. \_\_\_\_\_]、カール=リープクネヒトらが[25. \_\_\_\_\_]を結成し、1919年初めに各地で武装蜂起したが鎮圧された。
- ・ハンガリー：ロシア革命の影響で1919年[26. \_\_\_\_\_]がソヴィエト政権を樹立したが、保守的な軍人[27. \_\_\_\_\_]が圧殺した。

【3】対ソ干渉戦争と戦時共産主義



<ネップとソ連の成立>

【1】 [32. \_\_\_\_\_] (New Economic Policy) 1921-1928

○戦時共産主義で低下した生産力の回復

- ・余剰生産物の自由販売許可、農産物の強制徴発廃止、外国資本導入、中小企業の私営許可
- 生産力は大戦前の水準に回復、小ブルジョワ(富農の[33. \_\_\_\_\_])、新たな資本家ネップマン

【2】ソ連の成立

■1922年12月、シベリアから日本軍撤退

↓

■[34. \_\_\_\_\_]が結成

↓※ロシア・ウクライナ・ベラルーシ・ザカフカース

■1924年1月、新憲法が公布。

ソ連の承認

列強はソ連政権がネップ期に安定したのを見て承認した。労働党内閣の[35. \_\_\_\_\_]が1924年に承認し、伊・仏(1924)、日(1925)と続いた。米は1933年まで承認を拒否した。